赤ちゃんとのふれあい教室

ゲストティーチャーの皆様へ

９月１５日、知立中学校で、赤ちゃんとのふれあい教室を実施したところ、４５組の赤ちゃんとその保護者の方がゲストティーチャーとして参加してくださりました。

生徒たちは、赤ちゃんや保護者の方とのふれあいを通し、普段教室では学ぶことのできない、貴重な体験をすることができました。

～ご協力ありがとうございました～



初めて赤ちゃんを抱いたとき、ぬくもりと柔らかさを感じて、気分が落ち着くような気がしました。

・だっこした赤ちゃんは、想像より、重かったです。
・赤ちゃんは、軽くて、びっくりしました。自分にもこんなに小さくて何もできなかった時があったと思うと不思議な気持ちになりました。

赤ちゃんは、お母さん以外の人に抱かれると泣いてしまい、母は偉大だと感じました。



赤ちゃんをあやしながら家事をするのは大変だと思いました。

抱っこしているとだんだん腰が痛くなり、毎日やっている親はすごいとあらためて思いました。



育児は大変なことが多いけれど、それ以上に成長を見守る喜びや愛情があるのだと思いました。





出産のために何十時間も痛みと戦うお母さんを尊敬します。自分の母もそうだったのかと思うと、家族を大切にしないと、と思いました。

子どもが欲しくてもできない時期があり、やっと授かり、うれしかったと、自分の子供を見つめるお母さんを見て、命の大切さを感じました。

・旦那さんが、育児や家事に参加していて、かっこいいなと思いました。
・父親も育休をとって子育てしてくれるのがどれだけありがたいことなのかわかりました。

・私も大切に育てられているのだと再認識しました。
・自分が小さい時も、いろいろな人に支えられてきたんだなと感じました。
・こんなにも小さかったのに、ここまで成長できて、支えてくれた両親にあらためて感謝です。









育児に関するものや成長の記録、
出産や育児のお話など、
生徒のために
たくさんご準備いただき、
ありがとうございました。

知立市立知立中学校



創立80周年記念
マスコットキャラクター

